

デュエットの魅力 / オペラや歌曲と共に

吉田珠代 soprano 町英和 baritone 村上寿昭 piano

2019 03月30日(土)

開場 13:00 ※afternoon live

開演 13:30~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



吉田珠代

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業及び同大学院修了。卒業時に桑原賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第6期生修了。第6回静岡国際オペラコンクール最高位、及び三浦環賞受賞。2010年オーストリア・シュタイヤー音楽祭にて『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ役でヨーロッパオペラデビュー、「見事なまでのオーラを感じさせる歌唱で難役を演じ切った非の打ちどころのないソプラノ」と各紙から絶賛された。2012年小澤征爾音楽塾『蝶々夫人』（関係者公開公演）では主役外国人キャスト初日公演降板の為、急遽タイトルロールで舞台を務め小澤氏から絶賛を浴びる。2015年新国立劇場高校生のための鑑賞教室 オペラ『蝶々夫人』、2016年ズービン・メータ指揮ウィーンフィルハーモニー管弦楽団サントリーホール30周年記念『第九』、2017年ウィーン楽友協会に於ける『第九』、サントリーホールRe・オープニングコンサート、ロッシェニ『ミサ・ソレムニス』、2018年サントリーホールジルヴェスターコンサート喜歌劇『こうもり』、2019年には日中友好記念・上海フィル・ベートーベン「第九」にソリストとして抜擢。小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル松本、新国立劇場、日生劇場、サントリーホールオペラアカデミーゲスト等で活躍。第12回岩城宏之音楽賞受賞。



町英和

国立音楽大学、同大学大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第6期生として研鑽を積み、文化庁在外派遣研修員としてポロニヤ、公益財団法人ローム・ミュージックファンデーションの助成を受けミュンヘンに留学。これまでに、兵庫県立芸術文化センターやサイトウ・キネン・フェスティバル松本、セイジ・オザワ松本フェスティバル、小澤征爾音楽塾、新国立劇場やびわ湖ホール、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団など国内の主要な公演に意欲的に取り組み、その知性豊かな楽曲解釈で好評を得ている。



村上寿昭

東京生まれ。ピアノを塩野圭子氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。大学在学中から、新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラにて、その後も水戸室内管弦楽団、ウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。1997年渡独。ベルリン国立芸術大学でマティアス・フスマン教授に師事。また2000年からは文化庁海外研修者として、またローム ミュージック ファンデーションの助成を受けウィーンへ留学。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治氏に師事。2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2008年から2012年まではカペルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティー・フィル、大阪交響楽団、京都市交響楽団、京都フィル、岡山フィルなどを指揮。2016年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVにて「こうもり」を、翌年は「カルメン」を指揮（小澤征爾氏と振り分け）。2016年セイジ・オザワ松本フェスティバルにてGigコンサートを指揮。現在、東京芸術大学講師、桐朋学園大学音楽学部講師、新国立劇場オペラ研修所講師。